

令和4年度 大学院医学薬学府学位記伝達式 学府長式辞

修了生の皆さん、おめでとうございます。皆さんとご家族、そして関係者の方々へ医学薬学府の教職員を代表して心から祝福いたします。3年に及ぶコロナ禍で多くの制限がある中、研鑽を積み、立派な学位論文を纏められた皆さんを大変に誇りに思います。

VUCA と呼ばれる先を見通すことが難しい時代だからこそ、皆さんの優れた能力が求められます。取得された博士号PhDは、世界で活躍する上で重要なライセンスです。多くの先人が築いた土台の上で、皆さんの実力を大いに発揮して欲しいと思います。修士号も立派な学位です。さらに力を伸ばしてください。

新型コロナウイルス感染拡大で対面の活動が減る中、インターネットを活用した講義や会議など社会のデジタル化が急速に進展しています。その一方で、正しい情報とコミュニケーションの大切さがあらためて問われています。様々な分野の優秀な人材が揃い、部局を超えて協力しているのが千葉大学の長です。これからも、人と人との繋がりを生かすとともに、皆さんのキャリアアップに本学を利用してください。

皆さんの多くはロールモデルを持っているでしょうし、今後も新たな出会いがあるでしょう。私は難しい問題に直面すると、大学院時の指導教授、岡田吉美先生を心に描き質問します。岡田先生は博士号を取得後にアメリカに留学し、バクテリオファージという大腸菌のウイルスを用いて、生物の究極の情報とも言えるコドンが3塩基であり、3塩基ずつアミノ酸に翻訳されるという高校の教科書に載っていることを証明したことで有名です。帰国後は、分子生物学を日本に広めるべく日本分子生物学会の第1回年会を開催するなど力を尽くされました。岡田先生は戦時中に陸軍幼年学校で鍛えられたこともあり、遅刻などには厳格でした。研究の組み立て方にも厳しく、特にコントロール実験の重要性をいつも言われました。マーシャル・ニーレンバーグは、試験管内でタンパク質が翻訳される研究をしていて、mRNA を用いた実験は失敗続きでしたが、コントロールとしてウラシルが連続する RNA を隣の研究室からもらって実験したところ、ポリフェニルアラニンができることを見つけ、コドンの最初の発見者としてノーベル賞を受賞しました。独創的な研究を粘り強く行うこと、そして情報や研究材料を交換することの重要性を示す一例と思います。

現在、私達は、地球レベルの多くの問題を抱え、歴史的な転換点にいます。正解が簡単に見つからない問題ばかりで、様々な知恵を結集する必要があります。いかに大きな成果も、地道で弛みない積み重ねの上で生み出されてきたことを忘れず、世界のために優秀な皆さんの力を生かし、一步一步着実に歩み続けてください。

先ほど正しい情報の大切さに触れましたが、研究をよく知る皆さんが正しい内容を多くの人に伝えること、例えば、皆さんのお爺さんお婆さんが分かるように説明することも重要です。研究の場を超え、幅広く社会の多くの方々に理解され応援されることも求められています。

皆さんが世界の様々な場で大いに活躍されることを心より祈念して、お祝いの言葉とさせていただきます。本日は、誠におめでとうございます。

2023年3月24日

大学院医学薬学府長 齋藤 哲一郎